

国語科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025 年（平成 7 年）10 月 31 日（金）
- 2 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級 3 組 第 1 学年（2 名）
- 3 単元名 ～図鑑や科学読み物を読んで、「かくれんぼずかん」を作ろう～
「うみのかくれんぼ」（光村図書）

4 単元について

（1）児童観

本学級の児童は、1 学期の説明的な文章「つぼみ」を読む学習で、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉える活動を行った。「問い」と「答え」の関係をつかみ、自分達で他の植物のつぼみについて、必要な言葉を抜き出したり考えたりして、簡単なクイズを作成することもできるようになった。しかし、助詞の使い方が不十分であったり、文章だけでは理解が追い付かず、書いてある内容を読み取ることが難しかったりしていたため、写真と言葉を対応させて考えることで理解することができた。

〈児童の個別の実態〉

A 児	B 児
<ul style="list-style-type: none">・「事柄の順序などを考えながら、文章の大体を捉えること」については、1 学期の説明的な文章「つぼみ」の学習で「問い」「答え」「具体的なつぼみの説明」という事柄の順序で書いてあることを理解することができた。・科学読み物を利用して「つぼみずかん」を作る活動では、「口では言えるけど、文章は書きたくない。なぞる。」と、口述したものを教師が書きとめ、それをなぞって完成させた。 →助詞「は」「を」「へ」の使い分けに自信がなく、図鑑は作りたいが不安に感じている。	<ul style="list-style-type: none">・「事柄の順序などを考えながら、文章の大体を捉えること」については、「問い」の「これはなんのつぼみでしょう。」の後に、「お花が出てくるよ。」「次は、お花がどうやって開くか書いてあるよ。」と、事柄の順序を理解していた。・科学読み物を利用して「つぼみずかん」を作る活動では、「ギザギザしている。」「ひまわりの花が開いたところが、ホットケーキみたい。」とつぶやいていた。たとえを使って表したり、形を表す言葉を生活経験の中で習得したりしている。

（2）教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語 第 1 学年及び第 2 学年〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと（1）アの指導事項「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」及びウの指導事項「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を受けて設定したものである。本教材「うみのかくれんぼ」は、1 学期に学習した「つぼみ」に続く、2 つ目の説明的な文章である。1 年生の児童にとって、かくれんぼは身近な遊びであり、経験している児童も多い。だからこそ、自分が隠れる時に考えている隠れる場所や自分自身の体の動きなどと関連付けて考えることができるであろう。「なにが、どのようにかくれているのでしょうか。」という問いかけに対して、それぞれの海の生き物の生態が答えになっており、既習の「つぼみ」で学習した「問い」とそれに対する「答え」の関係を想起しながら文章の内容を捉えることができる。また、それぞれの生き物の隠れ方を表す言葉や体のつくりを表す言葉が写真とともに示されているため、言葉と写真を結び付けながら文章の

内容を正確に理解した上で、説明に必要な語や文を考えて選び出すことができる教材であるとする。

(3) 指導観

「事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えること」ができるようになるために、「問いの文」、それに対応する「答えの文」（「何が」「どのように隠れているか」）を読み取っていきながら3種類の「かくれんぼずかん」を作っていく活動を行う。「答えの文」である3種類の生き物の「体の特徴」「隠れ方」については、言葉と児童のイメージが一致するように写真と対応させながら見つけていく。その際、自分のかくれんぼの経験を思い出し、「〇〇だから〇〇な隠れ方をする。」と「体の特徴」が「隠れ方」の理由になっていることに気付かせる。生き物が隠れているのは「命を守るため」ということを児童にも意識させて、2文目が3文目とつながっていて、必要な文章であることを理解させる。終末には「図鑑や科学読み物を読んで、『かくれんぼずかん』を作ろう」という言語活動を設定する。「文章の中の重要な語や文を選び出すこと」ができるようになるために、説明したい生き物の資料から「体の特徴」や「隠れ方」を付箋に書き出し、事柄の順序を考えて並び替える活動を行う。不安感が強く活動に取り組みにくい児童もスモールステップで取り組めると考える。

学校図書館の活用については、海の生き物の本を並行読書する活動を通して、生き物によって隠れ方が何種類もあり、それは体の特徴によるものだということに気付かせ、「この生き物の隠れ方を友達に知らせたい。」という意欲を高める。

5 本単元の目標と評価規準

(1) 本単元の目標

- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 【知識及び技能】(2) ア
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】C (1) ア
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】C (1) ウ
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合う。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

() 内は鷹取中学校区育成する力(資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	思考・判断・表現 (課題発見・解決力)	主体的に学習に取り組む態度 (主体性)
① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	① 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。 ② 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	① 見通しをもって学習に取り組む、進んで図鑑や科学読み物を読んで調べ、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、「かくれんぼずかん」に書こうとしている。

6 単元計画（全8時間）

次	時	学習活動	学校図書館活用のポイント	評価規準
一	1	・「うみのかくれんぼ」を読み、単元のめあてを立て、学習の見通しをもつ。		
二	2	・「うみのかくれんぼ」の問いの文を見つけ、答えがどこに書かれているか考える。	毎時間の終末に「いきものののかくれんぼずかん」の並行読書を位置づけ、「体の特徴」「隠れ方」など、楽しみながらいろいろな生き物と比較する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。 （ノート）【思①】 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 （ノート）【知①】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 （ノート）【思②】
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・はまぐりの文章を読む。 ・「体の特徴」と「隠れ方」を読む。 ・「はまぐりのかくれんぼずかん」をつくる。 		
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・たこの文章を読む。 ・「体の特徴」と「隠れ方」を読む。 ・「たこののかくれんぼずかん」をつくる。 		
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・もくずしよいの文章を読む。 ・「体の特徴」と「隠れ方」を読む。 ・「もくずしよいののかくれんぼずかん」をつくる。 		
三	7 (本時)	・自分の選んだ生き物の「体の特徴」と「隠れ方」について読み、説明する文章を書く。	「いきものののかくれんぼ」に関する本を活用し、ほかの生き物の隠れ方を調べてまとめ、紹介できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組み、進んで図鑑や科学読み物を読んで調べ、事柄の順序などを考えながら「かくれんぼずかん」に書こうとしている。 （行動観察）【主①】
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作った図鑑と友達の図鑑とを交換して読み合い、感想を伝え合う。 ・単元の振り返りを行う。 		

7 本時の目標

自分が興味を持った生き物について、文章中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

8 本時の展開（本時 7 / 8）

展開	◎学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	◎本時のめあてをつかむ。 ・かれいのかくれんぼを紹介するには、「体の特徴」と「隠れ方」を書いたらいいね。	○「うみのかくれんぼ」で学習した事柄の順序を再度提示し、図鑑に書くといい内容を確認できるようにする。	学校図書館利用のポイント 海の生き物だけでなく、陸の生き物の本も用意しておき、興味に合わせて選択できるようにする。
展開 (35分)	<p>㊟たいせつなことばをえらんで「かくれんぼずかん」をつくろう。</p> <p>◎自分が選んだ本から、生き物の「隠れ方」と「体の特徴」を見つけ、キーワードになる言葉をふせんに書いて集める。 ・挿絵や文末表現に着目して、生き物の「隠れ方」や「体の特徴」が書かれたところを見つける。 ・かれいの体の特徴は「ぺっちゃんこな体」「海底の砂と同じ色」 ・かれいの隠れ方は「砂や泥にもぐって隠れる」</p> <p>◎それぞれ抜き出した大切な言葉や文章をどのような順序にするのか考える。 ・集めたキーワードを取捨選択したり並べ替えたりする。 ・はじめに隠れ方を書こう。→「かれいが、すなやどろのなかにもぐってかくれています。」 ・「ぺっちゃんこ」と「海底の砂と同じ色」すなにもぐるから「ぺっちゃんこ」が大事だな。先に書こう。 ・なんでこんな隠れ方ができるんだろう。体の特徴と関係があるよね。</p>	<p>・「問いの文」を常に意識させ、「うみのかくれんぼ」と同じ事柄でまとめることを確かめる。 ・「隠れ方」や「体の特徴」の書き方が難しいと感じる児童のために、「隠れ方」や「体の特徴」を表す語彙を探せるようにしておく。</p> <p>・「なんでこんな隠れ方ができるのかな。」と問いかけ、「体の特徴」が「隠れ方」の理由になっていることに気付かせる。</p>	<p>【主】進んで図鑑や科学読み物を読んで調べ、事柄の順序などを考えながら「かくれんぼずかん」に書いている。 (観察・ワークシート)</p> <p>学校図書館利用のポイント 教科書の「うみのかくれんぼ」と同じような書き方の本を選び、「体の特徴」「隠れ方」などの大切な言葉を見つける。</p>
終末 (5分)	◎本時のまとめをする。 次時は、説明の文章を見直し、友達と交流することを確認する。		
	㊟「からだのとくちょう」と「かくれかた」のことばをみつけると、ずかんをつくることができる。		

うみのかくれんぼ

④ たいせつなことをえらんで「かくれんぼずかん」をつくらう。

といのぶん

「なにがどのようにかくれているのでしょうか。」

ずかんにかくこと

- ・ いきもののなまえ
- ・ ばしよ
- ・ からだのとくちよう
- ・ かくれかた

挿絵

〈からだのとくちよう〉

どろやすなとおなじいろ

ぺつちゃん

〈かくれかた〉

すなやどろにもぐる



⑤ 「からだのとくちよう」と「かくれかた」のことばをみつけると、ずかんをつくることができる。